第 33 回火災防護検討会　議事録

1. **日　時**：2026 年 4 月 13 日（月）14 時 05 分～14 時 50 分

2. **場　所**：一般社団法人 日本電気協会 4 階 A 会議室（Web 併用会議）

3. **出席者**：（敬称略）

出 席 委 員：村松主査(中部電力)，香川副主査(関西電力)，
浅野(日立 GE ﾍﾞﾙﾉﾊﾞﾆｭｰｸﾘｱｴﾅｼﾞｰ)，越膳(電源開発)，大平(四国電力)，
近藤(三菱重工業)*2，杉本(東京電力 HD)，遠崎(九州電力)，時岡(中国電力)，
平田(北海道電力)，廣田(日本原子力発電)，宮本(原子力安全推進協会)，
吉田(東芝)　（ 13名）

代理出席者：猿舘(東北電力，齋藤委員代理)，森本(北陸電力，橋本委員代理)　（ 2名）

欠 席 委 員：なし　（ 0名）

常時参加者：大野(東京電力 HD)*1，辻(日立 GE ﾍﾞﾙﾉﾊﾞﾆｭｰｸﾘｱｴﾅｼﾞｰ)，
長岐(日本ｴﾇ･ﾕｰ･ｴｽ)，佐藤(東芝プラントシステム)*1　（ 4名）

説　明　者：窪田(四国電力)　（ 1名）

オブザーバ：皆川，瀧澤(原子力規制庁)　（ 2名）

事　務　局：上野，中山(日本電気協会)　（ 2名）

＊1：議題(2)より常時参加者として出席

＊2：14:15 頃から参加

4. **配付資料**

資料 No.33-1　原子力規格委員会 安全設計分科会 火災防護検討会 委員名簿

資料 No.33-2　第 32 回火災防護検討会 議事録（案）

資料 No.33-3-1　JEAC4626,JEAG4607 改定要否検討の進め方について（案）

資料 No.33-3-2　別紙　改定作業分担案

＜以下，JEAC4626，JEAG4607-2021 改定時資料（第 28 回検討会）＞

資料 No.33-3-参考 1　規格制改定時に対象とした国内外の最新知見とその反映状況

資料 No.33-3-参考 2　国内火災事象（前回制改定以降）の知見反映要否確認

資料 No.33-3-参考 3　海外火災事象（前回制改定以降）の知見反映要否確認

資料 No.33-3-参考 4　米国規格類の調査について

資料 No.33-3-参考 5　火災防護関連規格類の更新状況

資料 No.33-3-参考 6　NFPA204(2018)の JEAG4607(2010)、JEAG4103(2009)への反映検討に係る一覧表

資料 No.33-3-参考 7　IAEA 安全指針からの JEAG4607 への反映事項の確認について

5. 議　事

事務局から，本会にて，私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後，議事が進められた。

(1) 定足数確認

事務局から，代理出席者 2 名の紹介があり，分科会規約第 13 条（検討会）第 7 項に基づき，主査の承認を得た。現時点で代理出席者を含め 14 名の出席であり，分科会規約第 13 条（検討会）第 15 項に基づく議案決議に必要な出席数（委員総数の 3 分の 2 以上）を満たしていることを確認した。また，事務局から常時参加者 2 名，オブザーバ 2 名及び説明者 1 名の紹介があり，オブザーバ参加について分科会規約第 13 条（検討会）第 11 項に基づき，主査の承認を得た。その後，事務局から配布資料の確認があった。

(2) 委員の変更

事務局より，資料 No.33-1 に基づき，前回検討会以降，下記委員が新委員として承認されたとの紹介があった。その後，新委員の挨拶があった。

・新委員　杉本委員（東京電力 HD）

また，事務局より，下記の常時参加希望者の紹介があり，分科会規約第 13 条（検討会）第 8 項に基づき常時参加者として承認するかについて，分科会規約第 13 条（検討会）第 15 項に基づき，会議室挙手及び Web の挙手機能により決議の結果，出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。その後，新常時参加者の挨拶があった。

・大野氏（東京電力 HD）　　・佐藤氏（東芝プラントシステム）

(3) 前回議事録の確認

事務局より，資料 No.33-2 に基づき，前回議事録案の説明があり，特にコメントはなく正式議事録として承認された。

(4) JEAC4626,JEAG4607 改定要否検討の進め方について

村松主査から資料 No.33-3 シリーズにより，JEAC4626,JEAG4607 の改定要否検討について，前回改定時の検討実績の紹介及びそれに基づく今回の進め方について説明があった。また，作業分担について説明があり，8 月下旬の結果集約及び 9 月頃の検討会開催に向けて，各チームリーダ主導により作業会毎に検討作業を進めていくこととなった。

（主なご意見・コメント）

・ 最新知見については，米国においても有料のものが多くあるが，基本的には公開されているサマリーの情報により要否を判断し，有料情報を購入するかどうかの必要性に

ついては作業の中で判断するという認識でよいか。

→ 従来の実績ではサマリーだけで判断できたものがほとんどであるが，作業会の中でサマリーだけでは不足ということになれば，それを検討会内で共有して購入するかどうかを相談していきたいと考えている。

・ 了解した。資料 No.33-3-1 の p.5 について，IAEA 安全指針については SSG-64，SSG-77 と記載しているが，前回の改定時には SSG-64，SSG-77 は発行されておらず，DS494 と DS503 を確認したので，資料を修正した方がよい。

→ 了解した。

・ 資料 No.33-3-2 の(3)の情報源について，前回は RG1.189 の中で呼び合っているものは全て確認しており，その他 ASME などについても確認しているので，「他」を追記した方が適切である。

→ 了解した。

・ 作業会は電気協会の下に設けるのか。

→ 作業会は電気協会の下に設け，チームリーダの方から声掛けして作業会をアレンジするといったイメージで考えている。

・ 作業会内の分担や進め方等の詳細について決めていかなければならないと思うが，作業会のキックオフ会議を開催したりするのか指示いただきたい。

→ 作業会は，各チームリーダから声掛けしていただき，打合せ等を設定することで進めていきたいと考えている。

・ 了解した。電気協会内に作業会を設置する旨を記載した資料があってもよかったのではないかと思った。

→ 資料 No.33-3-1 において作業会で実施する旨は記載しており，本日，作業会の設定と分担について了解いただけたら，検討会組織の作業として了解いただいたものとして進めていきたいと考えている。

・ 資料 No.33-3-2 の分担表について，電源開発がどこにも属していないため，割り当てていただきたい。

→ (1)に参加いただくこととする。

・ 本日の意見を踏まえ，資料については速やかに修正して共有する。今後，分からないこと等があれば都度都度連絡いただき，スムーズに進めていきたいと思うので，協力をお願いしたい。

(5) その他

・ 検討会出席が最後である四国電力 大平委員から退任の挨拶があった。

・ 村松主査及び事務局から，ISO18195 改定についてはまだ情報がないが，検討依頼があれば進め方を含めてメール等で意見をもらいながら進めていきたいと考えているので協力いただきたい旨の依頼があった。

・ 次回の検討会については，9 月頃に JEAC4626，JEAG4607 改定要否検討の集約結果について議論する予定。

以　上